

陸奥陽之助 つひらけ 映畫製作者。明治四十年一月十四日イギリス生まれ

(一九〇七)。陸奥廣吉・イソ子(エセル・パツシンズハム)夫妻の長

男、祖父陸奥宗光。東京中學校卒業後イギリスに留學。母の死を機に

歸國し、コジヤパン・マドバタイザーに記者、傍らロンドンのモデル

リー・エキスプレスに通信員、のち同盟通信社海外部長を経て、十七

年伯爵襲爵。二十一年U.P.(エナイテッド・プレス)記者、次でアマ

リカ・ニューズリール・プールの東京支局長を務める。二十七年インタ

ナシヨナル映畫株式会社を設立してドキエタントリー映畫の製作・配

給に従事。四十一年鎌倉女學院理事長就任。

編書 『陸奥宗光一死後百周年記念講演集』(平成十年七月二十九日イン

タナシヨナル映畫株式会社)。

陸奥宗光 昭和四十二年記念講演集

編輯に謝辞を捧ぐ、  
日本人の父、朝日大臣と  
いわれる故郷、  
近代日本が育んだ  
ら、とも語りつらうラス、  
陸奥宗光の死後百  
いまま、歴史を問は  
その人と歴史を問は  
陸奥宗光は誰かの人をはな  
いまでも生きている。

昭和四十二年七月二十九日  
陸奥宗光の死後百周年記念講演集